

令和4年度

事業報告

社会福祉法人あまくさ福祉会

- 地域生活支援センターグリーン
 - ・ 指定特定相談支援事業
 - ・ 生計困難者レスキュー事業
 - ・ 自立訓練(生活訓練)事業
 - ・ 生活介護事業(共生型通所介護)
- 就労サポートセンターぴ～す
 - ・ 就労継続支援B型事業
- グリーントポス
 - ・ 介護サービス包括型共同生活援助

令和4年度 指定特定相談支援事業報告

【1】概況

指定特定相談支援事業者として相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援出来るものをサービス等利用計画にて作成し、支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行っている。

同時に、必要に応じて医療関係者、学校関係者、各事業所、地域の保健師や保健所等関係機関や専門機関と連携し、障がい児者の意思や人格を尊重し地域で生活していくための相談・支援も行っている。

【2】相談支援・障害種別利用者契約状況

(1) 計画相談 月別実施状況

※相談件数についてはのべ人数

令和4年度月別利用者状況	月	モニタリング件数	計画作成件数	※相談件数	合計
	4月	15	2	96	113
	5月	20	1	91	112
	6月	16	7	51	74
	7月	14	8	98	120
	8月	9	4	101	114
	9月	23	5	78	106
	10月	12	2	95	109
	11月	13	4	94	111
	12月	20	3	87	110
	1月	14	7	94	115
	2月	7	4	82	93
	3月	12	12	96	120
合計	175	59	1,063	1,297	

(2) 支援内容内訳

※相談件数の内訳

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	195	家計・経済に関する支援	42
社会資源の活用に関する支援	121	生活技術に関する支援	8
障がいや病状の理解に関する支援	103	就労に関する支援	65
健康・医療に関する支援	101	社会参加に関する支援	21
不安の解消・情緒安定に関する支援	187	余暇活動に関する支援	3
保育・教育に関する支援	14	権利擁護に関する支援	2
家族関係・人間関係に関する支援	201	その他福祉に関する支援	0
		合計	1,063

(3) 障害別利用契約者数の前年対比

令和3年度 利用契約者数			
身体障がい者	5名	難病対象者	1名
知的障がい者	12名 (男性利用者)		43名
発達障がい者	3名 (女性利用者)		32名
精神障がい者	54名	合計利用者	74名

※合併症含む

令和4年度 利用契約者数			
身体障がい者	5名	難病対象者	2名
知的障がい者	14名 (男性利用者)		46名
発達障がい者	5名 (女性利用者)		31名
精神障がい者	57名	合計利用者	77名

令和3年度 サービス種別数			
居宅介護	16名	同行援護	1名
生活介護	18名	自立訓練	10名
通所介護	0名	就労継続支援B型	33名
共同生活援助	10名	就労移行	0名

※重複サービス利用あり

令和4年度 サービス種別数			
居宅介護	17名	同行援護	1名
生活介護	17名	自立訓練	7名
通所介護	0名	就労継続支援B型	38名
共同生活援助	13名	就労移行	1名

【3】事業取り組み

- ・計画相談だけでなく、広く社会資源や天草市の課題にも関心を持ち、サービス等利用計画に記載するだけにとどまらない生活上の相談にも対応できるよう積極的な相談窓口を意識した。
- ・個々のニーズに応じながら法改正を理解し制度に則った支援を徹底した。
- ・地域障がい相談支援センターと連携し、地域の様々なニーズに対応できるサービス体制の確保や地域の社会資源の連携体制の構築に重点を置いた。

【4】課題・次年度への提起

- ・自ら意思を決定することに困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援する。
- ・相談支援事業における丁寧な意思決定支援を行うための業務体制の整備や人材育成等への取組について積極的に取り組んでいく
- ・困難事例等については地域障がい相談支援センターと連携しケース評価会議を実施することでそのケースの振り返りや最適な支援のあり方などを検討していく。
- ・高齢、障害、子ども、生活困窮の制度ごとに分かれている相談支援((8050、ヤングケアラー、育児と介護のダブルケア、家計破綻・社会的孤立、ゴミ屋敷、ひきこもり)については既存の制度では対応できないため重層的支援会議にかけ解決を図っていく。

令和4年度 生計困難者レスキュー事業報告

【1】事業の趣旨・目的

この事業は、社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に行之、相談活動を行う中で、援護を必要とする方の心理的不安の軽減を図り、また必要な制度、サービスにつなぐこととする。そして、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等の全部または一部を現物により支援する経済的援助を行うことを目的とする。

【2】事業の特徴

- 【1】 事業を実施する法人の施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置
- 【2】 県・市の福祉事務所など公的機関や市町村社協、民児協等と連携し重層的な支援体制の構築を目指す
- 【3】 対象者を限定せず、すべての生計困難者を対象とする
- 【4】 施設に総合相談窓口を開設し、生計困難者の生活課題に対応する
- 【5】 必要に応じて経済的援助をおこなう。現金給付ではなく、担当のCSWが買い物や支払に同行するなどして現物給付で行う

【3】レスキュー事業の実施状況

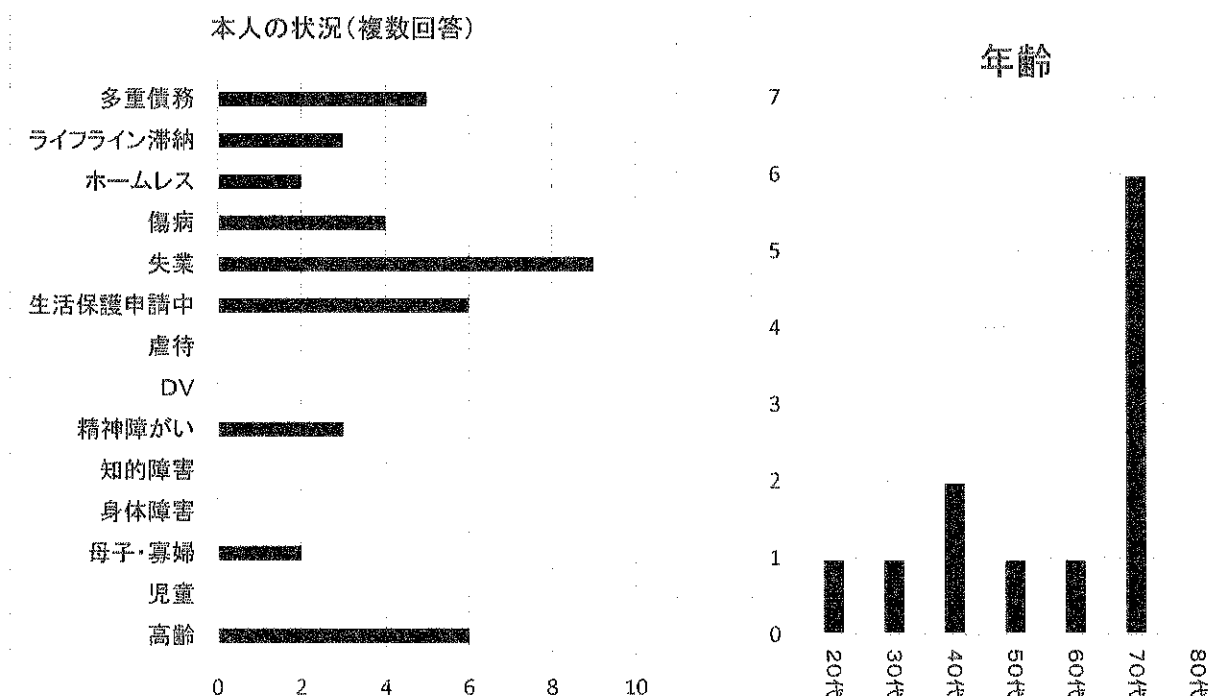
※令和5年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	12	件	
2) 支援終了記録提出	12	件	
3) 基金支払請求	12	件	
4) 支援継続中	12	件	計 443,198 円

(2) 支援ケースの状況

月別相談 受付件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	2	1	0	2	1	0	0	1	1	2	1	1	12 件



対象者 男女別	男性	女性	合計
	8	4	12 件

世帯状況	独居	夫婦	母子	親子
	6	2	3	1

対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
59.75	18.5	5.25	5.25	¥443,198	¥36,933

【4】生活困難者レスキュー事業に伴う相談者の現状と、これからの課題について

今年度の振り返りとして高齢で独居世帯の支援が目立ちました。「社会孤立」「心身の障害、不安」といった精神的要支援者等さまざまな重複、複合化した生活問題を抱える方、つまり養護を必要とされている方々が地域に存在しています。

ただ、助けを訴えることが出来る方が当事業の対象となっているように思われますが、助けを訴えることが出来ない子供や高齢者がもっと存在すると思われます。幼稚園や小学校、中学校などあらゆる場所に対してアプローチしていくことも必要と感じます。

これからの課題として、心理的不安の軽減を図ることや利用可能な制度に繋ぐなど、当事業の目的を地域が一体となって理解し、本当に必要のある方に対して利用しやすくすることに取り組んでいきたいと思えます。

生活介護・通所介護事業 事業報告

【1】サービス内容

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

【2】対象者

生活介護(障がい福祉サービス事業)

○地域や入所施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方で次に該当する方。

- (1) 障害支援区分が区分3(障害者支援施設等に入所する場合は区分4)以上の方
- (2) 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2(障害者支援施設等に入所する場合は区分3)以上の方
- (3) 生活介護と施設入所支援との利用の組合わせを希望する者であって、障害支援区分が区分4(50歳以上の者は区分3)より低い方で、指定特定相談支援事業者によるサービス等利用計画案を作成する手続を経た上で、市町村により利用の組合わせの必要性が認められた方

老人デイサービス(介護保険事業)

要介護認定を受けている65歳以上の方。

65歳以上の第一号被保険者と、40歳以上65歳未満の方で疾病(特定疾病)が原因で要介護認定を受けた第二号被保険者の方

【3】施設概要

施設名称 地域生活支援センターグリーン
所在地 天草市佐伊津町401番5
定員 20名(令和5年3月31日時 登録22名)
管理者 長山 直仁

【4】運営方針

1. 利用者が自立した生活、又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護・創作活動の機会の提供・日常生活能力の維持、向上のための支援を行います。
2. 事業所の実施にあたっては地域との結びつきを重視し、市町村・他の福祉サービス等と密接な連携を図るよう努めます。

【5】事業目標

- ① 職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- ② 温かい心のもった関わり、介護ができるように努める。
- ③ 利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境を作り、職員と利用者が信頼し合える家庭的な環境づくりに努める。
- ④ 施設内での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援ができるように努める。
- ⑤ 趣味やレクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、自分のもてる持てる強みが発揮できるように努める。
- ⑥ 利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解したうえで、利用者本人が自己決定できるよう利用者中心の支援を行う。

【6】活動内容

(1) 日中活動

活動内容	主な活動内容
健康管理	体重測定、散歩等、いきいき体操、くまモンヨガ、ペダル漕ぎ運動
創作活動	花、野菜作り、干し柿作り、壁飾り作り、貼り絵、ぬり絵、押し花等
趣味活動	園芸、山菜採り、書道、散歩、編み物、グランドゴルフ
社会資源活用	ショッピング、ドライブ
調理	料理教室(お弁当作り)、おやつ作り(誕生日会)
レクリエーション	ピクニック、カラオケ、茶話会、季節行事
個別支援	予定確認、金銭計画、常時相談等
その他の行事・活動	グリーンフェスタ

(2)年間行事報告

4月	お花見ドライブ	月例行事 ・誕生日会(随時) ・DVD鑑賞会(随時) ・カラオケ(随時) ・外出行事(随時) ・お菓子作り(随時) ・園芸(随時)
5月	グランドゴルフ大会	
6月	芋植え、避難訓練	
7月	七夕	
8月	海岸ピクニック(スイカ割り)	
9月	グリーン&び~すだけフェスタ	
10月	慰安旅行(日帰り)、ピクニック	
11月	芋ほり、紅葉狩りドライブ	
12月	クリスマス会、大掃除、忘年茶話会、干し柿づくり	
1月	初詣、鏡開き、焼き芋、書初め	
2月	節分(豆まき・恵方巻)、女性利用者お菓子作り(バレンタインデー)	
3月	ひな祭り、アルバム作り、男性利用者お菓子作り(ホワイトデー)	

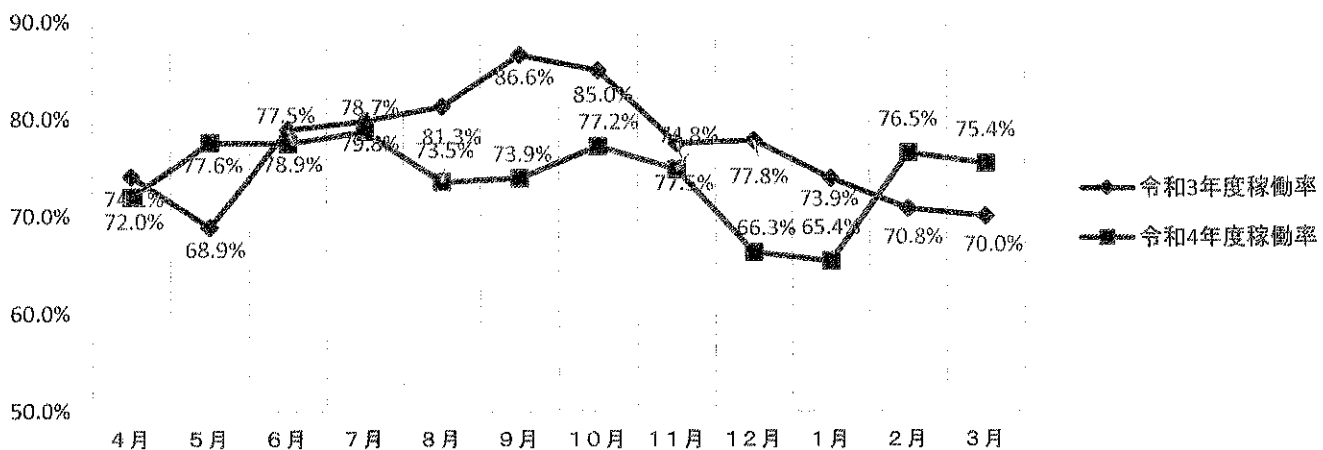
【7】利用者情報

性別	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳
男性	0名	0名	1名	4名	3名	1名	1名
女性	0名	0名	0名	3名	8名	0名	1名

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	317	357	341	362	338	325	355	329	305	301	306	347
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
稼働率	72.0%	77.6%	77.5%	78.7%	73.5%	73.9%	77.2%	74.8%	66.3%	65.4%	76.5%	75.4%
登録者数	22	22	20	20	20	21	21	21	21	20	21	21

登録者数内訳												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	15	16	14	14	14	15	15	15	15	15	16	16
通所介護	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6



【9】令和4年度の振り返り

昨年度と同様コロナ禍が継続しており、屋外や飲食を伴うプログラムに制限みられ実施自体が難しい一年であった。このような状況下ではあったが、感染予防対策を徹底した上でドライブやグランドゴルフ・慰安旅行を計画し出来る範囲の活動を実施することが出来た。特に慰安旅行に関しては、リスクレベルや感染状況が難しい中でも県外での旅行に踏み切り、積極的な行動を取ることで利用者の楽しみを奪うことなく遂行する事が出来たのではないかと考える。R4年度の生活介護の稼働率を見ると、年間を通して65.4%～78.7%と目標とする90%にはほど遠かった、その要因として体調不良や家族の諸事情等の理由がほとんどであり、特に12月、1月の入院が多く見られた。目標とする稼働率を向上させていくには、日頃から利用者の話を聞く事や、心身の小さな変化を読み取る事を早目に行う事で、入院の長期化を防ぎ、また外来での内服管理で落ち着いた状況もあるのではと感じた。今後も適切な支援を心掛け、利用者の方に安心感や楽しみを持てるプログラムを提供し、生きがいのある生活が送れるよう関わりを行っていききたい。

自立訓練（生活訓練）事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居宅において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

6名（令和5年3月31日時 登録6名）

【4】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員（訪問兼務）	1名	

【5】利用期間

原則2年間（1年延長可）

【6】事業内容

（1）個別支援計画

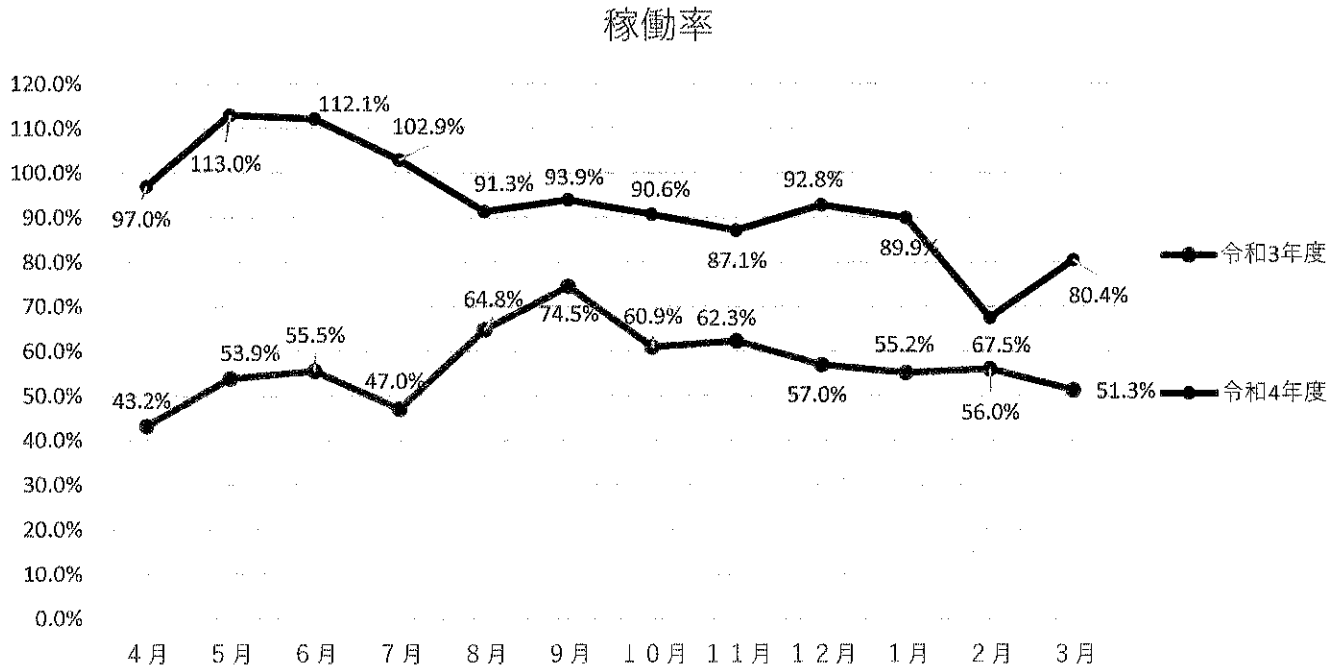
- ① 本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ② 個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③ 一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

（2）訓練プログラム

プログラム内容	回数	主な活動内容
健康管理	88回	スポーツ全般、バイタル測定
コミュニケーション	52回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	47回	料理教室、栄養講座等
金銭管理	12回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て
社会資源活用	32回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について
就労支援	90回	ファーム見学、施設見学、就労体験、クリーン活動
文化・芸術	73回	創作活動、書道、映画・音楽鑑賞
自主活動	55回	趣味活動
生活支援	34回	生活ゼミ（衛生や日常生活）
個別支援	52回	予定確認、振り返り、金銭計画、相談等
その他の行事・活動	22回	グリーンフェスタ、スポーツ交流会等
合計	557回	

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	128	156	148	142	126	124	125	115	128	124	81	111
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
稼働率	97.0%	113.0%	112.1%	102.9%	91.3%	93.9%	90.6%	87.1%	92.8%	89.9%	67.5%	80.4%



【8】令和4年度の振り返り

本年度から定員が6名となり、稼働率は平均93.2%と年間の目標は達成できた。しかし、1年間を通して安定した通所が難しい方がおられた。その原因としては体調や気分の問題もあるが、自立訓練に通うことの目的を理解できておらず活動への意欲が高まっていないことも原因として挙げられる。家族などの関係者は自立訓練の必要性を感じていても本人の思いがそれに伴っていないことが多く、その場合の継続した支援の困難さを強く感じた1年間であった。令和5年度は新規利用者の獲得も課題ではあるが、利用開始前の丁寧な説明と可能であれば見学や体験を経て自立訓練に対するイメージをつけていただき、意欲を持って通所していただけるようにしていきたい。

就労継続支援B型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ～す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が作業の対価である工賃をもらいながら、自立した日常生活または社会生活を営むために、特性や体調に合わせて、一人一人に合った作業内容で安心して働くことが出来るよう、様々な就労の場を提供し、継続・安定して就労ができるよう支援します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであって、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであって、年齢や体力の面で雇用される事が困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等の把握が行われている者

【4】作業内容

【施設内】

- ・ハンドメイド商品の製造・販売
- ・ちゃんぽん・ラーメン委託梱包作業(有限会社 アツカコミュニケーションズ)
- ・ひじき・青のり委託梱包作業(合同会社シーベジタブル)

【施設外】

- ・合同会社シーベジタブル(海苔の陸上養殖に付随する作業等)
- ・ワイズデポ(家具解体作業)

【その他】

- ・こころす喫茶ブースでの販売員

【5】利用定員

定員30名(令和5年3月31日時、登録27名)

【6】利用期間その他

利用期間の定めなし

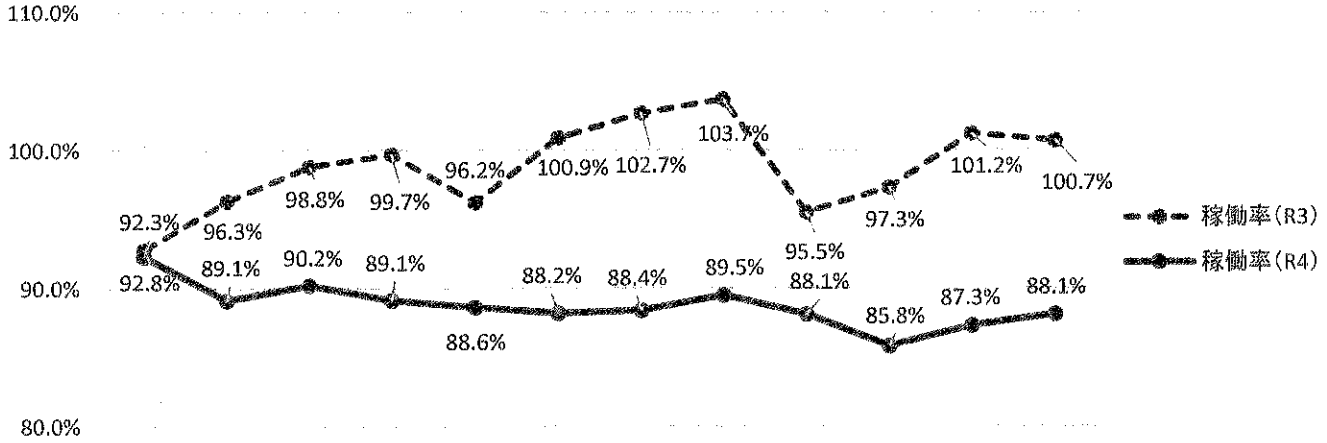
【7】販売会

期 日	販売会 名称	販 売 場 所
令和4年4月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年5月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年6月11日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年6月21日	健康のつどい	天草市複合施設こころす
令和4年7月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年8月19日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年9月21日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年10月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年11月12日	健康のつどい	天草市複合施設こころす
令和4年11月18日	天草市役所販売会	天草市役所
令和4年11月19日	北斗会文化展	苓南寮
令和4年12月2日～4日	くまもとハートウィーク	天草市複合施設こころす
令和5年1月20日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年2月21日	天草市役所販売会	天草市役所
令和5年3月22日	天草市役所販売会	天草市役所

【8】 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
利用回数(R3)	531	571	562	591	560	567	605	584	568	570	522	598	
利用回数(R4)	609	615	595	615	611	582	610	591	608	592	524	608	
稼働率(R3)	92.8%	96.3%	98.8%	99.7%	96.2%	100.9%	102.7%	103.7%	95.5%	97.3%	101.2%	100.7%	98.8%
稼働率(R4)	92.3%	89.1%	90.2%	89.1%	88.6%	88.2%	88.4%	89.5%	88.1%	85.8%	87.3%	88.1%	88.7%

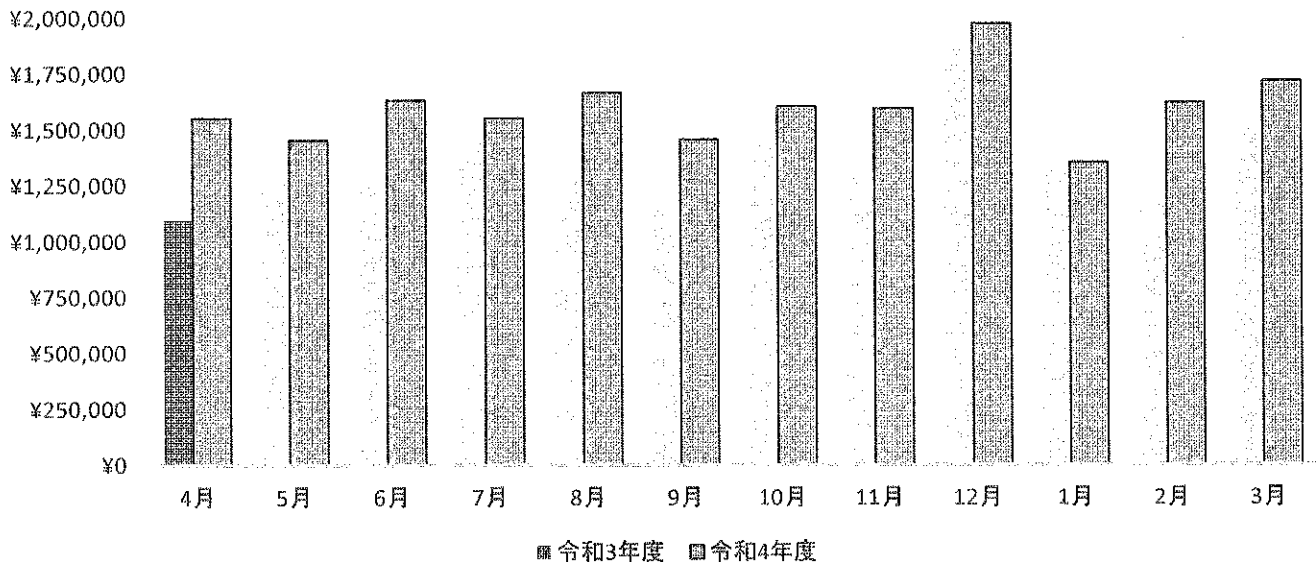
稼働率



【9】 月別収入

R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上	
	¥1,095,817	¥1,271,227	¥1,284,262	¥1,449,680	¥1,281,802	¥1,159,145		¥16,178,856
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
¥1,446,977	¥1,305,540	¥1,873,737	¥1,322,584	¥1,189,701	¥1,498,384			
R4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上	
	¥1,549,994	¥1,450,789	¥1,628,834	¥1,550,349	¥1,663,510	¥1,453,921		¥19,135,740
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
¥1,600,356	¥1,590,699	¥1,969,032	¥1,349,208	¥1,616,078	¥1,712,970			

月別収入



【10】平均工賃

	令和3年度	令和4年度	前年度比
目標工賃	25,700円	26,000円	(+300円)
実績工賃	35,608円	40,129円	(+4,521円)

最高工賃額(63,250円)

【11】R4年度の振り返り

令和4年度は、利用者の方一人ひとりが”毎日通いたい””仕事をしたい”と思うことで、利用回数、収入の増加や平均工賃の向上を目標とした。

利用者の方が気分や体調の変化を気軽に相談しやすい環境作りを行ったことで、安定した就労とモチベーションの維持に繋げることができた。ご家族や関係機関等と連携し、障がいの特性に合わせた作業の提供も行う事が出来、利用の増加や、工賃向上にもつながったと思われる。

施設内作業では、様々な委託梱包作業を行う中で、昨年より注文数・納品個数が増加したが、利用者の方の作業効率もスキルアップしており、委託先の方が満足する商品を期日通りに納品することができた。ユニット調整や、ひと月を見越した作業段取りもスムーズに行い、利用者の方が無理することなく落ち着いて作業することができた。また、新しい作業も増えたことで、繁忙期だけではなく利用者の方が毎日安定して行える作業を確保することができた。こらすの喫茶販売業務は、定期的な商品の入れ替え、見直しを行ったことで、新商品を楽しみにされているリピーターも増えている。日誌等の活用に加え、日々の関わりの中でも利用者同士が情報共有を行っていくことで、リピーター、新規のお客様に対しても声かけを工夫しながら販売業務が行えるようになってきている。

施設外就労では、利用者の方に同じ作業を担当していただくことで理解力が増し、自信を持って作業に取り組まれる姿を見られるようになった。委託先のニーズに応えられるようになりつつあり、就労の目的や目標に対する認識と行動に前向きさも感じられるようになってきている。

販売会は、6月の健康の集い、11月の北斗会文化祭など、市役所販売会以外でのイベントにも参加することが出来、多くのお客様にぴ～すのハンドメイド商品等、宣伝することができた。また、ふれあいハートウィークは前年同様、アンケートを実施し、沢山ののお客様から嬉しい言葉を頂くことが出来た。

年間行事では、コロナ禍で外出に制約がある状況ではあったが、希望される利用者の方の参加が実現できるよう、施設の選定等、各支援員で作業を分担し協力する事で、例年より多くの利用者さんに参加して頂くことができた。

新規の方も増えたため、いろいろな障がいの特性を知り、職員も一人ひとりがスキルアップしていく必要がある。みんなが続けて就労できる環境を整えるため、今後も支援員間での情報共有を徹底し迅速で適切な支援を心がけたいと思う。

介護サービス包括型共同生活援助事業 事業報告

【1】施設名

グリーントポス

【2】目的

指定共同生活援助の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な指定共同生活援助の提供を確保することを目的とする。

【3】利用定員

10名（令和5年3月31日時 登録10名）令和4年度：退所者2名、新規利用者2名

【4】利用対象者

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【5】利用期間 定めなし

【6】事業内容

(1) 個別支援計画

- ① 本人の意向に沿った計画を個別に立て、実施する。
- ② 個別支援計画策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員とカンファレンス会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③ 3ヶ月に1回モニタリングを行い個別支援計画が適正に行われているかを確認する。

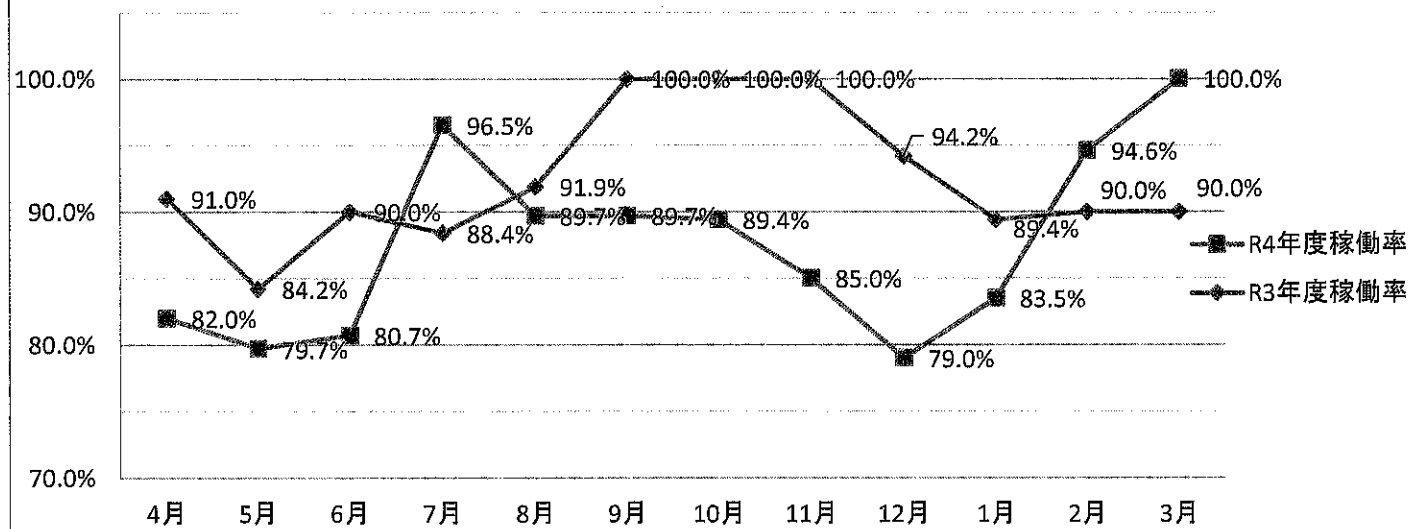
(2) 支援内容

- ① 利用者に対する相談
利用者及び利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行います。
- ② 食事の提供
世話人が栄養と各人の嗜好を考えて、バラエティーに富んだ献立を工夫し、提供します。（食材料費及び食事に係る水道光熱費は対象外サービスです。）
- ③ 健康管理・金銭管理の援助
服薬管理（入居者又は入居者のご家族の希望により若しくは主治医の指示で服薬管理を行います。）
・事務所で預かり、服薬を行う時間に入居者の方に手渡し、服薬して頂く。
・生活費の管理方法や使途方法等について必要に応じて相談支援を行います。
- ④ 余暇活動の支援
地域商店への単独買い物等を支援し、自主性を育てるとともに、余暇活動として地域行事の情報を提供し、参加を促進します。
- ⑤ 緊急時の対応
サービス提供中に、利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治の医師への連絡を行う等の必要な措置を講じるとともに、利用者が予め指定する連絡先にも連絡します。
- ⑥ 日中活動の場等との連絡・調整
日中、自立訓練事業やデイサービス等他のサービスを利用する場合、また職場に通勤する場合等に、必要に応じてサービス提供事業者や職場等と連絡・調整を行います。
- ⑦ 財産管理等の日常生活に必要な援助
食事、排泄、入浴、着替え、整容等について日常生活に必要な援助を行うとともに、財産管理に支援が必要な利用者について、成年後見制度の利用を促進するなど必要な援助を行います。
- ⑧ 夜間における支援
夜間において支援を行うものを配置し、就寝準備の確認、寝返りや排泄等の支援を行うとともに、緊急時の対応を行います。
- ⑨ 体験利用における支援
契約を希望されている方に、生活上の不安の解消等を目的として、正式な契約締結前に「体験利用」として支援を行います。
- ⑩ その他
上記に附帯するその他必要な介護、支援、家事、相談、助言を行います。

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数	10	10	9	10	9	9	9	9	9	9	10	10	
利用日数	246	247	242	299	278	269	277	255	245	259	265	310	87.5%
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
稼働率	82.0%	79.7%	80.7%	96.5%	89.7%	89.7%	89.4%	85.0%	79.0%	83.5%	94.6%	100.0%	

稼働率グラフ



【8】入居者情報

性別	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳
男性	0名	2名	0名	4名	0名	1名	0名
女性	0名	0名	1名	0名	1名	0名	1名

【9】日中福祉サービス利用状況

施設名称	地域生活支援センターグリーン			就労サポートセンターぴ～す		その他
	生活介護	通所介護	生活訓練	就労継続支援B型		
男性	3名	1名	0名	3名		0名
女性	1名	1名	0名	1名		0名
合計	4名	2名	0名	4名		0名

【10】会議及び研修

- 1、天草地域自立支援協議会：地域生活部会
- 2、グループホーム職員会議
4月29日(月)、5月24日(火)、6月23日(木)、7月27日(水)、8月26日(金)、9月27日(火)
10月27日(木)、11月30日(水)、12月23日(金)、1月24日(火)、2月28日(火)、3月28日(火)
- 3、法人全体会議
4月1日(金)、5月6日(金)、6月1日(水)、7月1日(金)、8月1日(月)、9月1日(木)
10月3日(月)、11月1日(火)、12月1日(木)、1月4日(水)、2月1日(水)、3月1日(水)
- 4、利用者会議：随時

【11】令和4年度の振り返り

昨年度は、入院が長期になったための5月に1名退所、自立のため7月に1名退所で2名の方が退所されましたが、7月に1名入所、R5 2月に1名入所があった、入所者も10名で満室である。
R5 1月に入所者に1名コロナ感染者が出たが、他の入所者に感染しないよう対策を取った為、他入所者や職員にも感染することなく、1名に留めることができた。コロナ行動制限緩和・解除もあり入所者の外出や外食等も多くなると思われが、入所者には買い物や定期受診等はマスク着用・手指消毒の声掛けは引き続き行っていく。